

# 平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	産業振興課	
基本構想	戦略的行政運営	重点的方針	2. 総合計画に基づいた政策マネジメントの推進	
分野別方針	(1) 農・海・里山のあるまちづくり	実施計画事業	1) 「農」のある暮らし推進事業(No.86)	
予算等事業名	ふれあい農園事業			
目的	農地の荒廃地化防止や里山保全を推進するため、町民の余暇利用やボランティア活動などを通じて、ふれあい農園事業や里山再生育成事業を展開する。			
内容	農地の荒廃地化の防止と町民の余暇利用を推進する。			
根拠法令・条例等	特定農地貸付法			
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか
<input type="checkbox"/> ① 計画どおりに進捗している <input type="checkbox"/> ② 計画より遅れている <input type="checkbox"/> ③ 未実施
②、③に対する理由

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか
<input type="checkbox"/> ① 検討できる <input type="checkbox"/> ② 削減は困難
理 由

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか
<input type="checkbox"/> ① 検討できる <input type="checkbox"/> ② 効率化は困難
理 由

中間評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止) 【説明】
------	--

## 総合評価

実績	定数を満たしている。		
中間評価との相違点	—		
事業指標(数値指標)	農園利用者数		
前期(27年度)目標値 単位:	123区画		【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
実績値	平成25年度 123区画	平成26年度	平成27年度 ふれあい農園区画数

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		243	243				
財源内訳	一般財源	71	66				
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	172	177				

### 事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない  【説明】 町民の余暇活動の充実と耕作放棄地対策のため	A
	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある  【説明】 町民の余暇活動の充実と耕作放棄地対策のため	A
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がってない  【説明】	A
	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない  【説明】 受益者負担により借地料を賄っているが維持管理費等の負担までいたっていない。	B
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)  【説明】  受益者負担により借地料を賄っているが維持管理費等の負担までいたっていない。	B
	今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	維持管理費等も含め受益者負担を求めて行く。

#### ◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/>	① 現状維持	<input type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 廃止
理由	荒廃農地対策の一助となっており、継続して事業推進する。						
今後の方向性	利用期間の更新の際には、受益者負担の見直しを行う。						